

～臨床における即時荷重～

講師：Par-Olov Ostman (スウェーデン・イエテボリ大学准教授)

日時：平成22年11月27日(土)

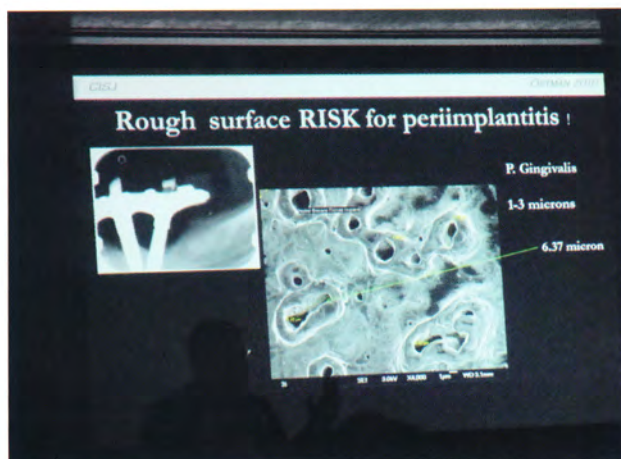
場所：東京/株松風

三堀 陽介 (東京都)



11月27日、湯島にある株松風にて特別研修会が行われました。講師の先生は、スウェーデン、イエテボリ大学生体材料学よりオストマン先生が来日され3時間に渡り、熱心な講演が行われました。

講演については、主に北欧、ヨーロッパ諸国における即時荷重のトレンドや自身における即時荷重の基準やプロビジョナル、補綴設計についてお話いただきました。また、イエテボリ大学、生体材料学部准教授でもあられるオスト



マン先生より直接、3i社より発売された新しい表面性状を持つナノタイトの説明を受けることができました。

従来のミクロンサイズのラフサーフェスに比べ、ナノサイズの表面構造には、数ミクロンの細菌の入り込むスペースがないこと、リン酸カルシウムをコーティングすることで、骨面とインテグレーションにおける生物学的利点がありました、おおよそ20年くらいで、リン酸カルシウムは破骨細胞に貪食されチタン表面との結合に置き換わっていくことなど、とても興味深いお話を伺うことができました。

やはり海外において第一線で活躍されている先生の、お話が聞けるといことは、とても良い刺激になり自身のモチベーションを上げる活力となりました。

当日は、同時通訳もあり英語の苦手な自分でも、まるで不自由はありませんでした。

